



名古屋市【社会実験】 名チャリ社会実験2010

- コンセプトは「CO2排出量の削減」「放置自転車の削減」「まちの賑わいの創出」
- 名古屋大学大学院生の発案により、平成19年にスタート
- 平成21年度からは名古屋市主導で本格実施を目指しての社会実験を展開
- 平成21年度はコミュニティサイクルの認知を目的に無料・有人管理での社会実験を実施
- 平成22年度は事業化を見据え、有料・無人管理システムでの社会実験を実施

【実験概要】

実施期間	期間	10/1(金)~11/30(火) 計61日間
	運営時間	8:00 ~ 20:00
施設規模	自転車台数	300台
	ポート数	30箇所
料金体系		登録料: 2ヶ月2,000円、1週間500円、1日300円 利用料: 30分以内無料、以降30分200円
初期登録	登録方法	申込書(個人情報・アンケート・クレジットカード番号)記入 会員カード発行
	登録場所	Web、郵送、窓口6箇所、
管理	管理方法	遠隔(無人)管理
	貸出・返却の管理	自転車: ICタグ 個人: IC(FeliCa)カード
	集中管理	自動データ送信
	個人認証媒体	専用ICカード、交通系ICカード、おサイフケータイ
	料金收受	クレジットカード
機器	自転車車両	・小径車(新車・6段変速・Panasonic製)(200台) ・リサイクル自転車(100台)
	ラック	電磁ロック
	その他	精算機なし

【特徴】

- エリア: 名古屋市における商業・ビジネスの中心地
- ターゲット: 業務・私事
- ポート: できるだけ密に配置(目標300m間隔)
公開空地、コインパーキング、道路、公園等、さまざまな場所に設置
- 自転車: 同じシステムの中に、オリジナル自転車とリサイクル自転車が共存

【利用実績】

登録者数	1,905名
延べ利用回数	26,208回
1日平均利用回数	429.6回/日
回転率	1.4回/台・日
平均利用時間	12.9分/回

【実験の評価】

- 有料化等の影響により、会員登録者数は大幅に減少した。一方で、会員一人あたりの利用回数は増加し、平均利用時間は短縮されるなど、コミュニティサイクルの特徴が現れる結果となった。
- 今後は、事業効果や採算性を精査し、行政の関わり方を含め、持続可能なシステムとなるよう検討していく予定である。

担当 : 名古屋市自転車利用課 佐橋、松村
連絡先: 052(972)2858
運営事業者: 名チャリエコポート事業チーム
(株)創建、(株)蔦井、(株)日本コンピュータ・ダイナミクス、(株)JTB首都圏



《民有地を利用したポート》



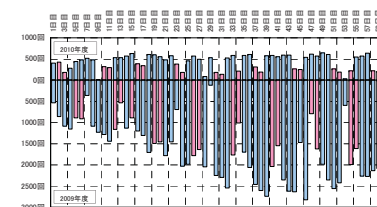
《名チャリに乗る市長》



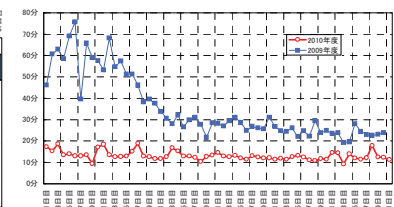
《会員証》



《自転車とラック》



《利用回数》



《平均利用時間》



北九州市【民間事業者による本格実施】 愛称 『シティバイク』

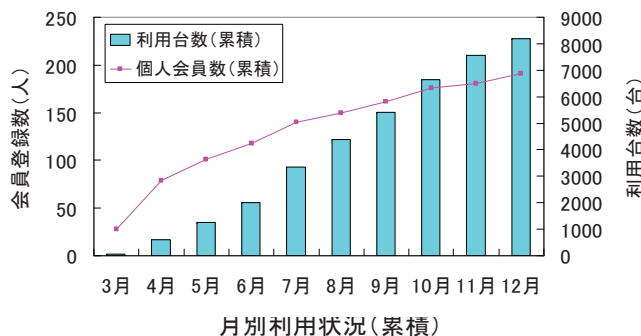
- 過度なマイカー利用から、公共交通や自転車を積極的に利用するライフスタイルへの意識と行動の変革を促すもの
- 利用対象者は、自動車を利用して短距離移動するビジネス客、マイカーで市街地等を移動する通勤客・買い物客、観光客など

【実施概要】

事業主体	NPO法人 タウンモバイルネットワーク北九州	
供用開始日	平成22年3月27日～	
運営時間	24時間	
施設規模	自転車台数	116台(全て電動自転車)
	ステーション数	10箇所
料金体系	・会員利用 月額基本料:525円 利用料:105円/時、1日最大525円	
	・一時利用 500円/日	
初期登録	登録方法	Web登録又は申込書記入
	カード発行場所	有人ステーション3箇所
管理	管理方法	無人管理 (10時～17時は管理人によるステーションの巡回を実施)
	貸出・返却の管理	無人管理
	個人認証媒体	会員カード(磁気タイプ)
	料金収受	会員:クレジットカード 一時利用:現金
	機器	自転車車両
	ラック	平置き駐輪ラック
	その他	無人対応用キーボックス

【利用実績(H22年12月31日現在)】

■登録者数		
法人会員	14法人、459名	
個人会員	191名	
■利用台数		
会員利用	7405台	
一時利用	795台	
■1日平均利用回数	29台/日	



【利用促進】

- ・登録者、利用台数とも着実に増加しているが、安定的な運営を行うまでには至っていない。
- ・今後も、事業者とともに法人会員の勧誘を中心に、普及促進活動を実施していく。



サイクルステーション
(小倉北区役所内)



体験試乗会風景

事業主体: NPO法人タウンモバイルネットワーク北九州
事業支援: 北九州市建築都市局都市交通政策課
連絡先: 093-582-2518(都市交通政策課)



横浜市【社会実験】 横浜都心部コミュニティサイクル

○都心部の活性化や自転車施策の推進及び脱温暖化に向けた先進的な取り組みとして、コミュニティサイクルの本格導入に向けた実験

- ・ 本格導入を見据えて、非接触型ICカードを導入
- ・ 事業化を意識して、有料貸出を実施

【実験概要】

実施期間	期間	10/29(木)~11/30(月) 約1ヶ月
	運営時間	10:00~18:00
施設規模	自転車台数	100台
	ポート数	10箇所
料金体系		登録料:300円 利用料金:最初の1時間 無料 1時間以降1時間ごと 100円 デポジット:500円 定期利用:1,000円
初期登録	登録方法	申込書記入し、専用ICカードを発行
	登録場所	現地
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	登録後の管理は、ICカードでスタッフが確認し行う。
	集中管理	本部に電話/スタッフが携帯電話でデータ送信/自動データ送信等
	個人認証媒体	ICカード
機器	料金収受	現金
	自転車車両	・軽快車50台、小径車50台(新車) (ブリヂストン ベガス20インチ 3段変速) (ミヤタ スترونガー26インチ 6段変速)
	ラック	平置き(既存駐輪場等も利用)
	その他	GPSで利用者の行動軌跡を調査

【実験の目的】

- 想定したターゲット:
観光/業務/私事/通勤等幅広に想定
- 実施の目的や背景等:世界各地で導入が進んでおり、都市のスタンダードアイテムとなる可能性も含め、国際都市横浜としての魅力アップや地域経済への貢献、環境問題などを考慮し実施

【利用実績】

登録者数	1,340 名
延べ利用回数	3,322 回
1日平均利用回数	125 回/日
回転率	1.3 回/台・日
平均利用時間	約1時間程度

【実験の評価】

- 有料でもかなりの利用者が見込まれる。
- 利用者は本格運用への期待を持っている。
- 地元も地域活性化や利便性向上に期待。
- 観光利用が多く、業務需要の開拓が必要。
- 本格モデルで長期実験を行う。

担当:横浜市都市整備局都市交通課長 黒水公博
連絡先:045-671-3515

運営主体:横浜都心部コミュニティサイクル社会実験JV
(代表企業) サイカパーキング(株)
(構成団体) (株)IHエスクープ
横浜サイカパーキング(株)

特定非営利活動法人駐輪・駐車場情報センター



観光スポットと自転車



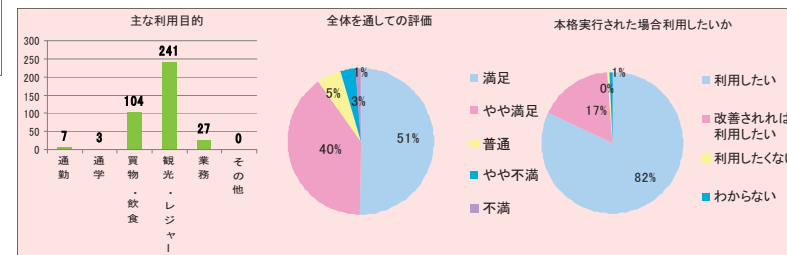
会員カードと自転車



サイクルポートでの貸出様子



ICカードとリーダーライター





大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会 千代田区コミュニティサイクル

- 店舗・大学・社寺等との連携による、新たな賑わい・交流の実現に寄与するコミュニティサイクルの運営を検討
- 鉄道利便性が高い大都市都心部における恒常的に実現可能なコミュニティサイクルのあり方を検討

【実験概要】

実施期間	期間	10/25(月)～11/24(水) 計31日間
	運営時間	10:00～18:00
施設規模	自転車台数	39台
	ポート数	11箇所
料金体系	登録料	(一般300円、法人500円)
	利用料	1日券200円 3日(回)券 500円 7日(回)券 1,000円 1ヶ月券 4,000円
	初期登録	登録方法 申込書記入、会員カード発行 登録場所 各サイクルポート
	管理	管理方法 有人管理 貸出・返却の管理 利用者カード/管理表 集中管理 ポート管理者がコールセンターへ連絡 個人認証媒体 ー
機器	料金収受	現金
	自転車車両	軽快車/電動アシスト自転車
	ラック	平置き

【実験の目的】

- 想定したターゲット: 観光/私事/業務
- 実施の目的や背景: 「環境モデル都市」としてコミュニティサイクルを始め総合的な環境交通社会実験を実施/H20年度より継続的に実施し、これまで取組まなかった地域との連携によるコミュニティサイクルマネジメントの運営を検討

【利用実績】

登録者数	168名
延べ利用回数	274回
1日平均利用回数	11.0回/日
回転率	0.35回/台・日
平均利用時間	118分/回

【実験の評価】

- 観光・私事・業務等多様なニーズが確認された。
- 地域と連携したコミュニティサイクルを実現するためには、より簡素化したシステムの構築が必要。
- 地域としては、サイクルポートが1つの賑わい拠点として、新たな賑わい・交流を生む出す手段として期待されていることが確認された。
- 今後は千代田区におけるコミュニティサイクルの本格実施に向けた取組みの検討を予定している。

担当 : 大丸有地区・周辺地区環境交通推進協議会
 連絡先: 副会長 水口雅晴 (03-3287-5353)
 事務局 折原 清 (03-5956-7501)
 事務局 瀬戸慎一 (03-3263-3811)



利用風景 (神田明神)



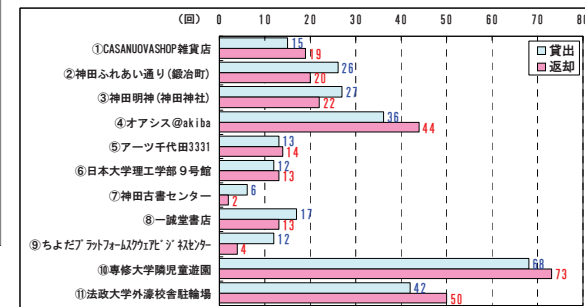
利用風景 (民間敷地内)



利用風景 (法政大学)



貸出・返却受付 (ポート機能の代替)



ポート別貸出・返却利用回数

porocle 札幌市【実証実験】POROCLE ポロクル 2010

- ・持続可能なサイクルシェアリングシステムを札幌で実装し、「公益性」、「事業性」の観点から検証。
- ・地域と一体となって「魅力的」なサイクルシェアリングシステムを構築し、「シェアする心」を発信。
- ・ドーコンはこれらの実験結果をもとに、2011年春から新しいポロクルの事業化を決定。

【実験概要】

実施期間	期間	2010年6月1日～9月30日 計4ヶ月	
	運営時間	7:30～22:00 (最終貸出時間21:50)	
施設規模	自転車台数	100台	
	ポート数	18箇所	
料金体系	利用タイプ	基本料金	利用料金(超過分)
	1ヶ月タイプ	500円/月	100円/30分(上限1日2,000円) ※30分以内のご利用なら基本料金のみで何回でも使えます
	1日タイプ	200円/日	
	1回タイプ	-	50円/30分(上限1日2,000円) ※登録手数料(利用開始月のみ)200円がかかります
初期登録	登録方法	携帯電話からの登録/カウンターでの登録/ ポートのパネルにおサイフケータイをかざして登録	
	登録場所	Web/カウンター/ポート	
管理	管理方法	管理サーバーによる集中管理システム	
	貸出・返却の管理	専用ICカード、おサイフケータイによる個人認証/サーバーによる自転車管理	
	個人認証媒体	専用ICカード/おサイフケータイ	
	料金收受	クレジットカード決済	
機器	自転車車両	<ul style="list-style-type: none"> ・市販車(ブリヂストン) 20インチ/8段変速/LEDライト ・オリジナル自転車 26インチ/3段変速/LEDライト 	
	ラック	平置き/電磁ロック	
	その他	ソーラーパネル/無線通信	

【利用実績】

登録者数	1,217件
延べ利用回数	11,293回
回転率(最大)	2.92回/台・日
日最大利用回数	282回
平均利用時間	24.4分/回

【公益性の検証】

●放置自転車の減少

路上駐輪者のポロクルの利用意向

札幌都心で路上駐輪をしている方の半数以上がポロクルを知っており、そのうちの52%がポロクルを利用したいと考えていることがわかりました。



ポロクルによる放置自転車問題の意識向上

ポロクルユーザーの57%は、放置自転車問題を意識するようになったと考えていることがわかりました。



●自転車マナー向上

ポロクルの運営スタッフは、マナー啓発ビブスの着用や車道の左側通行を徹底するなど、自転車利用マナーの向上について発信しました。

走行マナーに対する意識

ポロクルユーザーの72%は、自転車のマナーを意識するようになったと考えていることがわかりました。



【事業性の検証】

●『新しいポロクル』への利用意向

『新しいポロクル』への利用意向

『新しいポロクル』が実施された場合、ポロクルユーザーの91%は、登録したいと考えていることがわかりました。



【今後の予定】

●『新しいポロクル』がはじまります

もっと「便利に」もっと「楽しく」

ドーコンは、「札幌のまちの元気」を目指して、2011年春から『新しいポロクル』の事業化を決めました。

※資料1: 利用実績データより。 ※資料2: POROCLE「サイクルシェアリング実証実験」ユーザーアンケートより。 ※資料3: 札幌都心部の駐輪に関するアンケート調査より。

●CO2排出量削減

公共交通とポロクルの利用

ポロクルユーザーの53%は、公共交通とポロクルの利用が増加したと考えていることがわかりました。



自動車からポロクルへの交通手段の転換

自動車から転換したと考えられる利用は、1ヶ月間で350回。これは、約370kmの自動車走行に該当します。ポロクルの利用が進めば、もっとCO2を削減できると考えています。

※資料1及び資料2に基づくDOCON試算

●地域の活性化

都心部での行動の変化

主要な駅と商業施設やホテルにポートを設置しました。ポロクルユーザーの73%は、行動範囲が広がったと考えていることがわかりました。



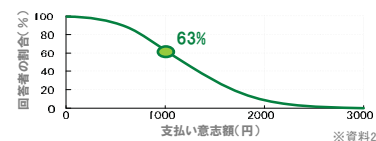
商業施設の活性化

行動範囲が広がった方のうち、商業施設への立ち寄りが増えた方は59%にのぼりました。



料金に対する支払い意志

ポロクルユーザーの63%は、ひと月1000円の料金設定でも登録したいと考えていることがわかりました。



札幌都心部の約2km圏に民地・歩道を活用してポートを配置



ポート設置の様子



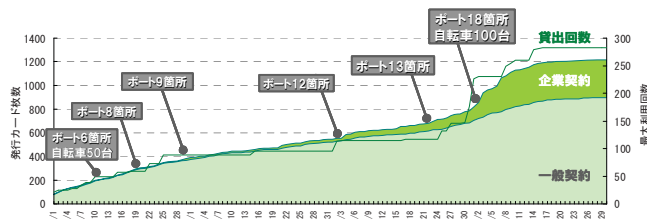
オリジナル自転車



運営の様子



マナー啓発ビブスの着用



ユーザー登録件数と貸出履歴の推移

ポロクル2010 実施主体 **Docon docomo**

問合せ先:
株式会社ドーコン 交通事業本部 交通部 サイクルシェアリング推進室
TEL:011-801-1523
お問い合わせ担当窓口:澤・三田村



仙台市【社会実験】 せんだいコミュニティサイクル

- 公共交通を中心とした過度にクルマに依存しない交通体系を実現するため、コミュニティサイクルの導入を検討
- 本格導入に向けた段階的なアプローチの第一段階として、H22年度はシステムを多くの方に知って（使って）いただくことを第一として社会実験を実施
- 持続可能なシステムの構築に向けた民間との連携

【実験の実施概要】

実施期間	期間	11/1(月)~11/30(火) 計30日間
	運営時間	8:00~19:00 (最終返却時間19:30)
施設規模	自転車台数	100台
	ポート数	10箇所
料金体系	登録方法	申込書に記入し、専用ICカードを発行
	登録場所	Web、窓口1箇所、特設窓口2箇所(期間限定)
管理	管理方法	管理員常駐
	貸出・返却の管理	自転車附带のICタグと専用ICカードの認証
	個人認証媒体	専用ICカード
機器	料金収受	なし(無料)
	自転車車両	市販車(ブリヂストン) 26インチ、6段変速
	ラック	電磁ロック (無人管理も対応可)

【利用実績】

登録者数	5,284名
延べ利用回数	17,884回
回転率	5.96回/台・日

【実験の評価】

- 当初目標(回転率2.0回/台・日)を大きく上回る実績が確認された。
- 特定の利用目的や属性に偏ることなく、多様なニーズが確認された。
- 今年度は無料実施であったこともあり、利用時間に応じた料金システム等を検討していく必要がある。
- 今後は、持続的なシステムとするための課題を整理し、民間との連携など独自の工夫を含めて検討を行っていく予定。

図 コミュニティサイクルへの評価

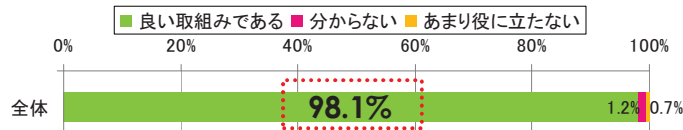
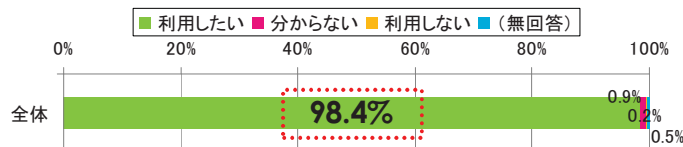


図 次年度も実施した場合の利用意向



※特定日に行った利用者への街頭インタビュー調査結果より(n=577)



仙台市都心部の約1km圏に民地・公共用地を活用してサイクルポートを配置



サイクルポート全景(公園用地内)



ラックと専用ICカード



利用風景(民間敷地内)



時間帯により利用集中する
仙台駅前付近のポート

実施主体: 仙台市都市整備局交通政策課 (TEL: 022-214-8303)
運営主体: 社団法人 日本交通計画協会

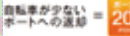


柏市 【実証実験】 かしわスマートサイクル



☆自動車からの転換による温室効果ガスの低減を目的に、自転車利用促進事業の1つとして「かしわスマートサイクル」を導入するため、実証実験を実施

独自の
取り組み

- ☆完全無人化によるポート運営！！
- ☆お助けボーナスポイント制度！！  1ポイント=1円
- ☆深夜利用者向け宿泊制度(2/1開始)！！ 夜10時～翌朝8時:上限200円 例)借りる⇒自宅(保管)⇒翌朝返却

【実験概要】

実施期間	期間	H22/4/28(水)～H23/3/31(木) 計338日間
	運営時間	5:00～24:00 ※返却は25:00まで (一部9:00～17:00)
施設規模	自転車台数	34台
	ポート数	6箇所
料金体系	登録料	無料
	利用料金	100円/60分 ※夜10時～翌朝8時:上限200円
初期登録	登録方法	申込書に記入し、専用ICカードを発行
	登録場所	UDCK, あげほの山農業公園
管理	管理方法	ポートは無人管理、管理者は利用状況を専用サーバーで確認
	貸出・返却の管理	専用ICカードの認証 (個人認証も兼務)
	集中管理	サーバー管理
	料金收受	登録場所にて現金前払い
機器	自転車車両	①ミヤタ製 26インチ 外装6段 ②プリチストン製 20インチ 内装3段 ③無印製 20インチ 内装3段 (パナソニック)
	ラック	①オートロック式 ②簡易式(利用者によるワイヤーロック)

実施主体：柏市都市振興公社(TEL:04-7164-4141)

支援：柏市都市計画部交通政策課(TEL:04-7167-1219)

【実験の目的】

想定したターゲット	通学, 通勤, 来訪者
実施の目的	①長期実験によるシステムの有効性・安定性
	②利用者の動向
	③既存レンタサイクルとのすみ分け
	④管理上の問題点の抽出
	⑤収支を考慮した事業性の可否

【利用実績】 1月31日現在

登録者数	430名
延べ利用回数	4485回
1日平均利用回数	16.1回/日
回転率	0.54回/台・日
平均利用時間	19分/回

【実験の評価】

- 利用形態は、柏の葉キャンパス駅と東京大学との利用が約8割を占め、柏の葉地域での回転率は0.93回/台・日
- 利用時間は、利用者の9割が30分未満
- 実験期間中、レンタサイクルの利用は低下していないため、利用形態の違いからレンタサイクルとの共存は可能
- 突発的な無線LANの接続不良、自転車返却時のラック不感知等の機器不良が発生

【今後の課題・展開】

- 利用率の向上
- 登録と料金チャージの利便性向上
- ・現状の窓口決裁から、ICカードやクレジットカードを利用した決裁への転換
- ・WEBを利用した登録の簡素化
- システム、ポート機器の信頼性の向上



↑柏市北部の自転車走行環境が良い地域を中心に駅、主要施設等に自転車ポートを配置



↑オートロックポート全体写真 ↑ICカードリーダーと専用ICカード ↑オートロックポートのラック



↑簡易ポート全体写真 ↑ICカードリーダー ↑プリチストン製 20インチ 内装3段



↑自転車にポート案内図を設置

貸出	返却	UDCK	東京大学	柏たなか駅	柏の葉公園	北柏駅	あげほの山	計
UDCK(オートロック)		342	1824	12	65	10	0	2253
東京大学(オートロック)		1820	202	3	10	0	0	2035
柏たなか駅(簡易ポート)		13	0	9	0	1	0	23
柏の葉公園(オートロック)		63	14	0	56	3	0	136
北柏駅(簡易ポート)		0	3	3	0	12	1	19
あげほの山(簡易ポート)		0	0	0	0	3	16	19
計		2238	2043	27	131	29	17	4485

↑各ポート間のトリップパターンと利用回数(4月28日～1月31日)



金沢市【社会実験】 金沢レンタサイクル「まちのり」

- まちなかの自転車利用環境向上の取り組みの4つの柱(①自転車通行空間整備、②駐輪環境整備、③自転車利用促進、④ルール・マナーの向上)の1つとして、公共交通としての自転車利用促進を図るため、コミュニティサイクルの導入を検討
- 本格導入にあたっては、国内外の事例を踏まえつつ、無人管理システムの構築を目指す

【実験概要】

実施期間	期間	8/21(土)~10/20(水) 計61日間
	運営時間	平日:7:30~20:30 休日:9:00~19:00
施設規模	自転車台数	100台
	ポート数	10箇所
料金体系	登録料金	無料
	貸出料金	基本料金(200円/日、1,000円/月) +追加料金(1回の利用が30分を超える毎に200円)
初期登録	登録方法	申込書記入、身分証明書提示、利用者カード発行
	登録場所	Web、FAX、郵送、各ポート
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	貸出券を利用者に発行し、返却時に貸出券を受け取り
	集中管理	ポート係員が事務局へ連絡
	個人認証媒体	利用者カード(紙カード)
	料金收受	個人:現金、クーポン券(ホテル発行) 法人:実験後に請求書送付
機器	自転車車両	・シティサイクル ・新車 ・26インチ、変速機無
	ラック	平置き

【実験の目的】

- コミュニティサイクルの需要(利用目的、利用時間、利用頻度)を把握し、サイクルポートの位置の妥当性などを検証し、管理方式・料金体系等、金沢にふさわしいシステムを検討するため実施

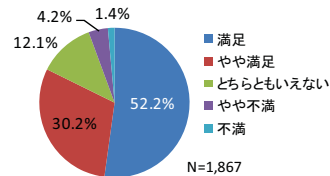
【利用実績】

登録数	6,230件(法人7件含)
延べ利用回数	21,622回
1日平均利用回数	354.5回/日
回転率	3.55回/台・日
平均利用時間	15分/回

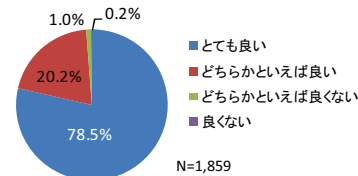
【実験の評価】

- 当初予想を大きく上回る利用が確認された。
- アンケート結果では、社会実験の評価は高く、本格実施に対する意識や利用意向も高い。
- 持続可能なシステムとするため採算性の向上について検討する。

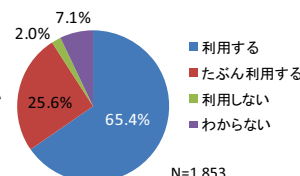
▼社会実験全体の評価
→回答者の82%が満足



▼本格実施に対する意識
→回答者の99%が「良い」



▼本格実施後の利用意向
→回答者の91%が利用意向あり



▲金沢市中心部約2km圏内にサイクルポートを設置



▲①金沢駅ポート(駅広場内)



▲自転車(シティサイクル)



▲利用者カード



▲クーポン券(ホテルが発行)

実施主体:金沢市歩ける環境推進課
TEL:076-220-2371



さいたま市 コミュニティサイクル社会実験

○さいたまSMARTプランにおいて「自動車に過度に依存しない交通体系の実現」に向けたとりくみの一環として自転車利用の促進を検討。
○さいたま市の都心の一つである大宮駅周辺およびさいたま新都心周辺地区の連携強化や、短距離移動の利便性向上、都市内の回遊性向上による、都市の魅力向上等を目的として実施

【実験概要】

実施期間	期間	9/25(土)~10/22(金) 計28日間
	運営時間	8:00~18:00
施設規模	自転車台数	100台
	ポート数	5箇所
料金体系		登録料.....1,000円 最初の1時間.....無料 以降1時間ごと...100円
初期登録	登録方法	申込書に記入し、専用ICカードを発行
	登録場所	各ポート
管理	管理方法	管理員常駐
	貸出・返却の管理	パソコンによるICカード認証
	個人認証媒体	専用ICカード
	料金收受	現金
機器	自転車車両	・電動アシスト、3段変速(10台) ・20インチ、6段変速(90台) (パナソニック)
	ラック	平置き(4ポート) 電磁ロック(1ポート)

【実験の背景】

○H21年度(財)日本自転車普及協会の「コミュニティサイクルの実現に関するフィージビリティ・スタディ(FS)検討都市」に公募し、選定される。
○H22年度に、(財)日本自転車普及協会が主体となり、さいたま市においてFSを補完する社会実験を実施。

【利用実績】

登録者数	389名
延べ利用回数	1353回
1日平均利用回数	50回/日
平均利用時間	一分/回

【実験の評価】

○利用者の約96%が再度利用したいとの意向を示しており、コミュニティサイクルに対するニーズの高さが確認された。
○「自動車」からの転換が約10%確認された。
○今後は社会実験で得られた、ポートの設置数や運営時間等のニーズデータを基に、持続可能なシステムの構築に向けた課題解決を図る。
○H24年度にコミュニティサイクルの整備・運営を予定

担当:さいたま市都市局都市計画部都市交通課
連絡先:048-829-1053
運営事業者:JV(株)日建設計シビル・(株)JT首都圏・(株)サーベイサチセンター



大宮駅東口側の公共用地を活用してサイクルポートを配置



サイクルポート全景(大宮駅東口)



統一感を持たせた自転車



熱心に話を聞く高校生(大宮駅東口ポート)



休日における走行軌跡(GPSデータより)



平日における走行軌跡(GPSデータより)



本実験で作成したリーフレット(表)



本実験で作成したリーフレット(裏)



本実験で作成したポスター



専用ICカード

東京都江戸川区【社会実験】

Eサイクル ～ 自転車マナー向上宣言!! ～

自転車は環境に配慮し健康増進に役立つ身近な乗り物であることから、江戸川区では新たな自転車文化の創造を目指し、レンタサイクル社会実験を実施

社会実験の目的

1. 都市交通の一つとして、自転車の利用促進を図る。
2. 自動車からの利用転換を促進し、環境負荷の緩和、走行車両の減少を図る。
3. 自転車を共有することにより駐輪場の効率的な活用を図る。



【区内の南部に位置する葛西地区にポートを設置】

実施概要

実施期間	期間	H21/9～（現在実施中）
	運営時間	4:30～翌1:00
施設規模	自転車台数	400台
	ポート数	3箇所（駅駐輪場内）
料金体系		1,500円/月 ・ 100円/1日
初期登録	登録方法	身分証明書の写しを添えて、申請書記入
	登録場所	ポート窓口
管理	管理方法	係員常駐による有人管理
	貸出・返却	係員による台帳管理
	個人認証	登録カード
	料金収受	現金
機器	自転車車両	市販車（26インチ、オートライト） 再生自転車

利用実績（H22/12月実績）

登録者数	定期:376名 当日:8,086名
利用回数	17,993回/月
平均利用回数	578回/日
回転率	1.45回/台・日
平均利用時間	一分/回

実験の評価

- ◆1台あたりの回転率が1.4回以上あることから、僅かではあるが自動車交通からの転換によるCO₂削減への効果や今後の可能性も確認できた。
- ◆1台のレンタサイクルの共有利用（シェアリング）により新たな駐輪場を整備することなく、自転車利用者数を増加させることができた。

利用状況推移



【西葛西駅ポート】



【利用風景】



茅ヶ崎市 コミュニティサイクル社会実験

- 自転車の利用促進を図り、環境への配慮、まちの活性化、渋滞緩和に繋げるためコミュニティサイクルの導入を検討
- 主に商店をポートとし、利用者とポート管理者(店員)が直接対面するアナログ方式で実施
- 商店会連合会や観光協会に協力いただき、商業や観光の活性化についての検証も行う

【実験概要】

実施期間	期間	H21. 12/15(水)~2/15(月) 計63日間
	運営時間	各ポートにより時間帯は異なる
施設規模	自転車台数	51台(内3人乗り3台)
	ポート数	19箇所
料金体系		1回300円/1日
初期登録	登録方法	申込書記入、利用者カード発行
	登録場所	各ポート
管理	管理方法	有人管理/遠隔管理
	貸出・返却の管理	ポート管理者が、貸出、返却の際コールセンターへ連絡
	集中管理	コールセンターが情報を集中管理
	個人認証媒体	利用者カード
	料金収受	現金
機器	自転車車両	・シティサイクル27インチ(ミヤタ) ・3人乗り自転車(ブリヂストン)
	ラック	平置の自転車ラック

【実験の目的】

- 想定したターゲット: 観光/業務/私事等
- 実施の目的や背景等: 公共交通を補完する新しい都市交通としての役割、自動車からの転換による環境面における役割

【利用実績】

登録者数	268名
延べ利用回数	345回
1日平均利用回数	5.5回/日
回転率	0.11回/台・日
平均利用時間	4時間5分/回

【実験の評価】

- 駅周辺のポート利用が集中し、逆に駅から離れポート利用が少なかった。
- 1日券や乗継券がなかったため、乗り継ぎの促進できなかった。
- 商店の売り上げ等数値的な統計がとれなかった

担当 : 茅ヶ崎市都市政策課 交通計画担当
 連絡先: 0467-82-1111(内)2516
 実施運営主体: 社団法人日本交通計画協会
 管理運営: サイカーパーキング株式会社



店舗をポートとして利用



ホワイト色のシティサイクル



3人乗り自転車も3台導入



社会実験開始式の風景



ポスターは公共施設や駅に設置

富山市(シクロシティ株式会社) 自転車市民共同利用システム(アヴィレ)

○パリ(フランス)等の欧州の各都市で実績を有するコミュニティサイクルシステムを導入。
○屋外広告を活用し、事業主体となる民間事業者が独立採算で実施するコミュニティサイクルを実現。

【概要】

実施期間	期間	平成22年3月20日～
	運営時間	24時間
施設規模	自転車台数	150台
	ポート数	15箇所
料金体系	(基本料金)	
	定期(1年)パス:月額	700円
	7日パス:	1,000円
	(利用料金)	
	30分までは無料	
	30分から60分:	200円
	60分から30分毎:	500円
初期登録	登録方法	事前登録制。登録完了後に専用カードが発行される。
	登録場所	Web、郵送
管理	管理方法	遠隔管理
	貸出・返却の管理	自転車附带のICタグと専用ICカードの認証
	個人認証媒体	ICカード
	料金收受	クレジットカード、口座振替
機器	自転車車両	・専用自転車 ・26インチ、3段変速
	ラック	電磁ロック (無人管理も対応可)
	その他	・ターミナル(操作端末) ・情報掲出パネル(広告・地図)

【目的】

○想定したターゲット:通勤、業務、私事
○実施の目的や背景等:「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を推進するため、コミュニティサイクルを導入し、短距離の自動車利用の見直し、中心市街地の回遊性の強化と活性化を図る

【利用実績】(平成22年12月31日現在)

登録者数	901名
延べ利用回数	33,428回
1日平均利用回数	117回/日
回転率	0.9回/台・日
平均利用時間	8分/回

【今後の展開】

○詳細な利用状況を把握するための調査を実施し、事業効果の分析、サービス内容の改善を行う。
○利用者の増加を図るため、要望の多い法人会員制度や1日パス等のシステムの導入を検討し、業務目的・観光目的等の需要に対応した新サービスを実施する。

担当 : 富山市環境部環境政策課
連絡先 : 076-443-2053
運営事業者 : シクロシティ株式会社



ステーション全景(歩道上)



専用自転車



ラックと専用ICカード



LRT電停横のステーション



堺市 さかいコミュニティサイクル

- 自動車利用中心から公共交通や自転車利用中心へ都市構造を変革する取組み
- 4か所の駅前サイクルポートを整備し、H22年9月に本格運営開始
- 地場産業である堺製の自転車を使用
- 自転車の空き情報とバス時刻表等を表示する液晶端末パネルを駅改札前に設置

【実施概要】

実施内容	運営開始	H22年9月
	運営時間	6:00~25:00 (ポートにより少し異なる)
施設規模	自転車台数	450台
	ポート数	4箇所
料金体系	登録料なし(専用ICカードは貸与)、デポジットなし、1日利用300円(電動400円)、定期利用一般2,000円/月、学生等1,600円/月など	
初期登録	登録方法	申込書記入、専用ICカード発行
	登録場所	すべてのポート窓口
管理	管理方法	有人管理(6:00~21:00)、以後25:00までは無人管理
	貸出・返却の管理	自転車附带のICタグと専用ICカードで認証
	集中管理	システムデータは24時間集中管理
	個人認証媒体	専用ICカード
	料金収受	現金(更新機に入金)
機器	自転車車両	・軽快車/電動アシスト ・新車(武田サイクル)/(サンヨー) ・24インチ、3段変速/26インチ、3段変速
	ラック	平置き(ゲート方式)
	その他	コミュニティサイクル・バス情報システム

【利用実績】(H22年9月~12月)

登録者数	1028名
延べ利用回数	6238回
1日平均利用回数	52回/日
回転率	0.11回/台・日
平均利用時間	122分/回 (利用者アンケートによる)

【評価、課題等】

- 利用者の評判はおおむね良好
- 市民の認知が不十分で、利用がまだ少ない
- 企業、学校等へ利用の働きかけを行っていく予定
- 電磁ロック型のまちなかサイクルポートの拡充を予定

担当 : 堺市 自転車まちづくり推進室
自転車まちづくり担当 (担当 竹内)
連絡先: 072-228-7636
運営事業者: サイカパーキング(株)
(社)堺市シルバー人材センター
(財)自転車駐車場整備センター



堺東駅前サイクルポートの出入りロゲート



すべて国内メーカー製部品を使用した堺製自転車



専用ICカード



コミュニティサイクル・バス情報システム端末パネル(南海堺駅・堺東駅、JR堺市駅)



熊本市【実証実験】 観光型レンタサイクル

- 観光客等の回遊性を向上させるために、レンタサイクルの導入を検討
- サイクルポート間での貸出・返却を可能とし、併せて観光案内を行った
- 街なかの賑わいを創出するために、中心市街地を事業エリアとした

【実験概要】

実施期間	期間	9/15(水)～11/30(火) 計77日間
	運営時間	9:00～17:00
施設規模	自転車台数	50台
	ポート数	10箇所
料金体系		無料
初期登録	登録方法	登録手法を採用していない
	登録場所	
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	台帳管理
	集中管理	スタッフが携帯電話で本部に連絡
	個人認証媒体	運転免許証等
	料金收受	なし(無料)
機器	自転車車両	・電動アシスト車 30台 ・通常の自転車 20台
	ラック	なし
	その他	

【実験の目的】

- 想定したターゲット: 観光/業務/私事
- 実施の目的や背景等: 九州新幹線の全線開業を控える中、観光客等の回遊性向上や中心市街地の活性化を図るために、レンタサイクルの実証実験を行った。

【利用実績】

登録者数	なし
延べ利用回数	2,783回
1日平均利用回数	36台/日
回転率	0.72台/日・人
平均利用時間	2～3時間/回

【実験の評価】

- 利用者の半数は観光客であり、飲食や買い物などの消費行動にもつながっていた
- 平成23年3月5日から5月31日にかけて、再度、実施実験を行う予定

担当 : 熊本市経済振興局観光振興部観光政策課
連絡先 : 096-328-2393
運営事業者 : 株式会社JTB九州熊本支店



サイクルポート(ホテル出入口)



自転車(電動アシスト車)



受付風景



受付風景

【月ごとの平均稼働率】

- ・9月平均稼働率(日計/50台) 約60%
- ・10月平均稼働率(日計/50台) 約76%
- ・11月平均稼働率(日計/50台) 約75%

